
奇跡の代償

tanaka

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奇跡の代償

【Nコード】

N5817K

【作者名】

tanaka

【あらすじ】

ある奇跡を目撃した少年のちょっとしたお話

奇跡という物は一瞬の出来事の中に宿る。

一瞬の出来事だから奇跡を目撃するチャンス逃す事が多い。
そんな中俺は一つの奇跡を目撃してしまった。

ドコッ！　グシャッ——！

「はあ……お前はアレか？　バカなのか？」

とある病院の一室。俺は呆れ顔の親父様に怒られていた。

「お前はある程度常識のある人間だと思っていたが、何を思って沢山の車が走っている道路に飛び出したんだ？　信号くらい守れよ」「ぐ、ごめんなさい……」

そう。俺は悲しい事に信号を無視して道路に飛び出してしまい、沢山の車に轢かれてしまったのだ。しかし、そんな状況でも生きているのはある意味奇跡なのかもしれない。

「それで、どうしてこんなバカな事をしたんだ？」

「そ、それは……」

俺だって意味も無くバカな事はしない。あの時はそうなってしまうほどの状況があったのだ。

奇跡と言えるほどの状況が……

「か、風が——」

「風が何だ？」

「いい感じの風が吹いて綺麗な女性のスカートが捲れたんだよ！」

そして捲れたスカートの先から奇跡の象徴が見えたんだ。

そう！　おパンツが！

神々しいおパンツが見えたのですよ！

そんな奇跡を目撃してしまったら他の事なんて見てられないだろ？

だから俺は道路に飛び出してしまったんだ。
きつとこれは奇跡を目撃した一つの代償なのではないだろうか？
そんな俺の力説を聞いた我が親父様は――

「……………」
小学生くらいの子供が見たら一生もののトラウマになってもおかしくない表情をしていた。

てか、俺も今夜夢に見そうだよ。

「あ、あの〜」

この嫌な空気をどうにかしたくて声をかけるが、
「……………」

依然無視を決め込んでいる。

それどころか、病室から出ていこうとしている。

「え、ちょっ――」

ボタンッ！

俺の呼びかけも空しく出て行ってしまった。

「…………くそっ！ 何で理解してもらえないんだ？」

男なら誰だって分かる事だろ！ なのに何で理解してもらえないんだよ！

あの親父不能じゃないんだろうか？

「はぁ…………過ぎてしまった事はもういい」

今俺がしなければいけない事をしよう。あの親父を説得するのは何時でも出来る。

だから今一番重要な事をしよう。

「さて、始めるか…………」

猶予はあまり無いだろうしな。早い事あの光景を網膜に完全に焼き付けて自家発電をしよう。

ふふ…………今夜は限界まで盛り上がるとするか。

その日――ある病室からは謎の奇声が一晩中聞こえていたとか……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5817k/>

奇跡の代償

2010年10月24日07時04分発行